

**2025年6月期（第34期）決算補足説明資料**  
**2026年6月期（第35期）経営計画**

**2025年8月5日**  
**アクモス株式会社**

# 今回の資料サマリー

## 2025年6月期 業績概況

- ・3つの事業セグメント全てで前期比増収。人件費等人財投資コスト増加の影響で、営業利益が減少し、経常利益率は9.1%（前期は10.6%）
- ・ITソリューション事業を中心に受注好調で前期比9.7%増、受注残高は前期比10.3%増

## 2026年6月期 業績見通し

- ・2025年6月期の業績、中期経営計画の戦略進捗状況を踏まえ、中期経営計画の最終年度を1年延長(p17参照)
- ・当初計画で示した1年目の計画数値、売上高70億円、経常利益7億円の計画

## 株主還元（配当）

- ・2025年6月期の期末配当は、当初計画通り1株当たり25円の予定
- ・2026年6月期の1株当たりの配当は、25円を計画

※中期経営期間において累進配当を導入。2025年6月期の期末配当より、前年実績の水準に対して、維持又は増配を行うことを基本方針としております。

## 目次

- **2025年6月期（第34期）業績概要**
- **中期経営計画 進捗状況**
- **2026年6月期（第35期）経営計画**
- **株主還元**

# 2025年6月期（第34期） 業績概要

# 2025年6月期 業績ハイライト (前期比)

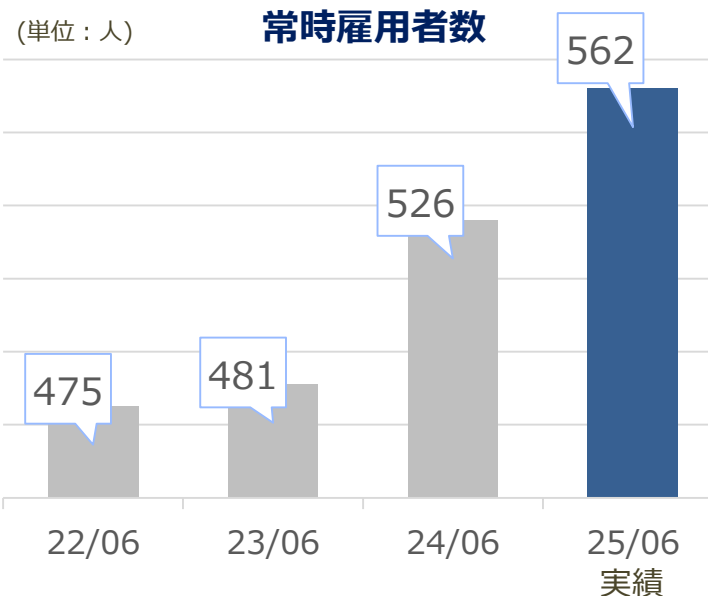
- ・前期取得の連結子会社の貢献や需要堅調で3つの事業セグメント全てで前期比増収
- ・人件費等人財投資コスト増加の影響で、営業利益が減少し、経常利益率は9.1%

(単位：百万円)	2024年6月期 通期	2025年6月期 通期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	6,230	6,421	191	3.1%
営業利益	660	583	▲76	▲11.6%
経常利益	660	584	▲75	▲11.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	422	386	▲36	▲8.7%
株主資本利益率(ROE)	14.1%	11.8	—	—
経常利益率	10.6%	9.1%	—	—
1株当たり配当金	24円	25円 (予定)	—	—
受注残高	2,096	2,312	215	10.3%

※各セグメントの状況については、P11～13に記載しております。

# 2025年6月期 業績ハイライト (計画比)

経営目標 KPI	計画	実績
売上高	7,000百万円	<b>6,421百万円</b>
営業利益	700百万円	<b>583百万円</b>
経常利益	700百万円	<b>584百万円</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	450百万円	<b>386百万円</b>
株主資本利益(ROE)	13.7%	<b>11.8%</b>
経常利益率	10.0%	<b>9.1%</b>



## 方針

Growth領域事業や首都圏地区でのITソリューション、ITインフラ分野のM&Aへの投資を推進



- ・Growth領域で人財投資を進め、営業・開発体制の整備を実施
- ・M&Aは首都圏中心にGrowth領域、Core領域で継続中

2025年6月期末の常時雇用者数595名以上を目指し採用を強化



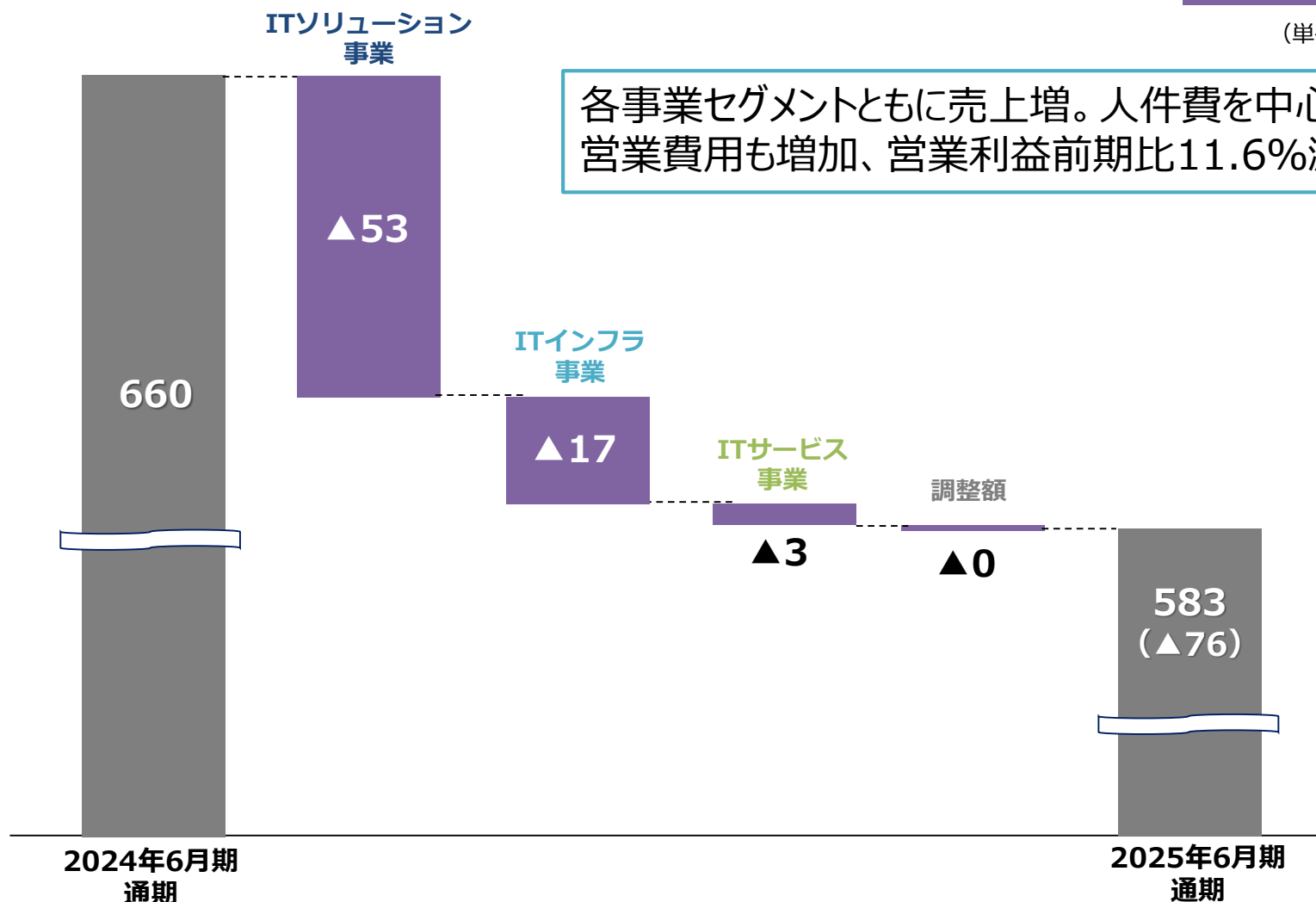
- ・新卒採用数は過去最高の51名、経験者採用を推進し、常時雇用者数は、2025年6月期末で562名（前期比36名増、計画比33名減）

## 主な取り組み

# 2025年6月期 営業利益分析（前期比）

増益要因  
 減益要因

(単位：百万円)



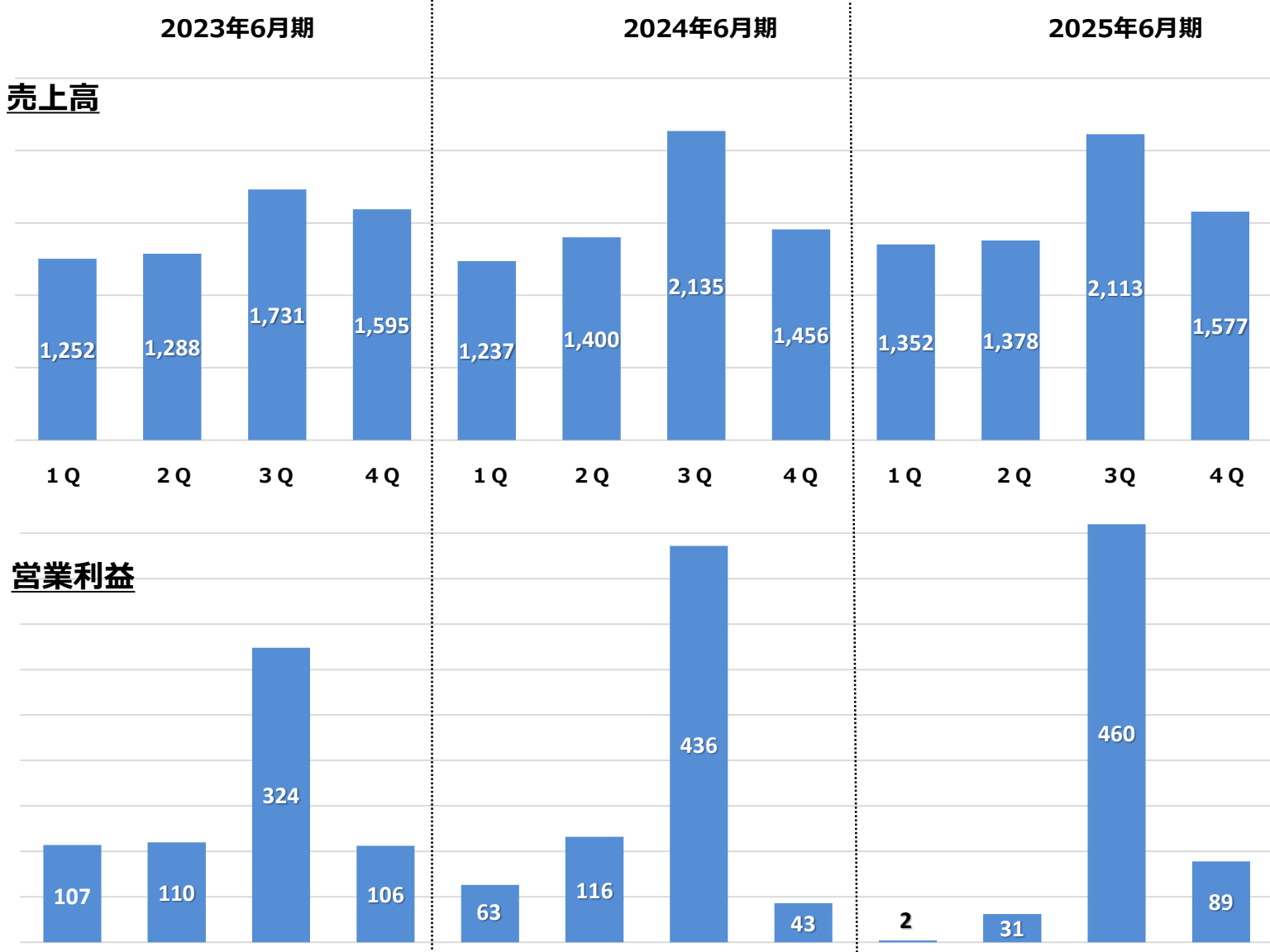
売上高	+191百万円	(ITソリューション+148, ITインフラ+49, ITサービス+19, 調整▲25)
営業費用	+268百万円	(ITソリューション+202, ITインフラ+67, ITサービス+22, 調整▲24)

※各セグメントの状況については、P11~13に記載しております。

# 連結売上高・営業利益推移

国内法人のお客様の多くが3月決算であることから、3月末にあたる第3四半期末において、売上が多く計上される傾向があります。

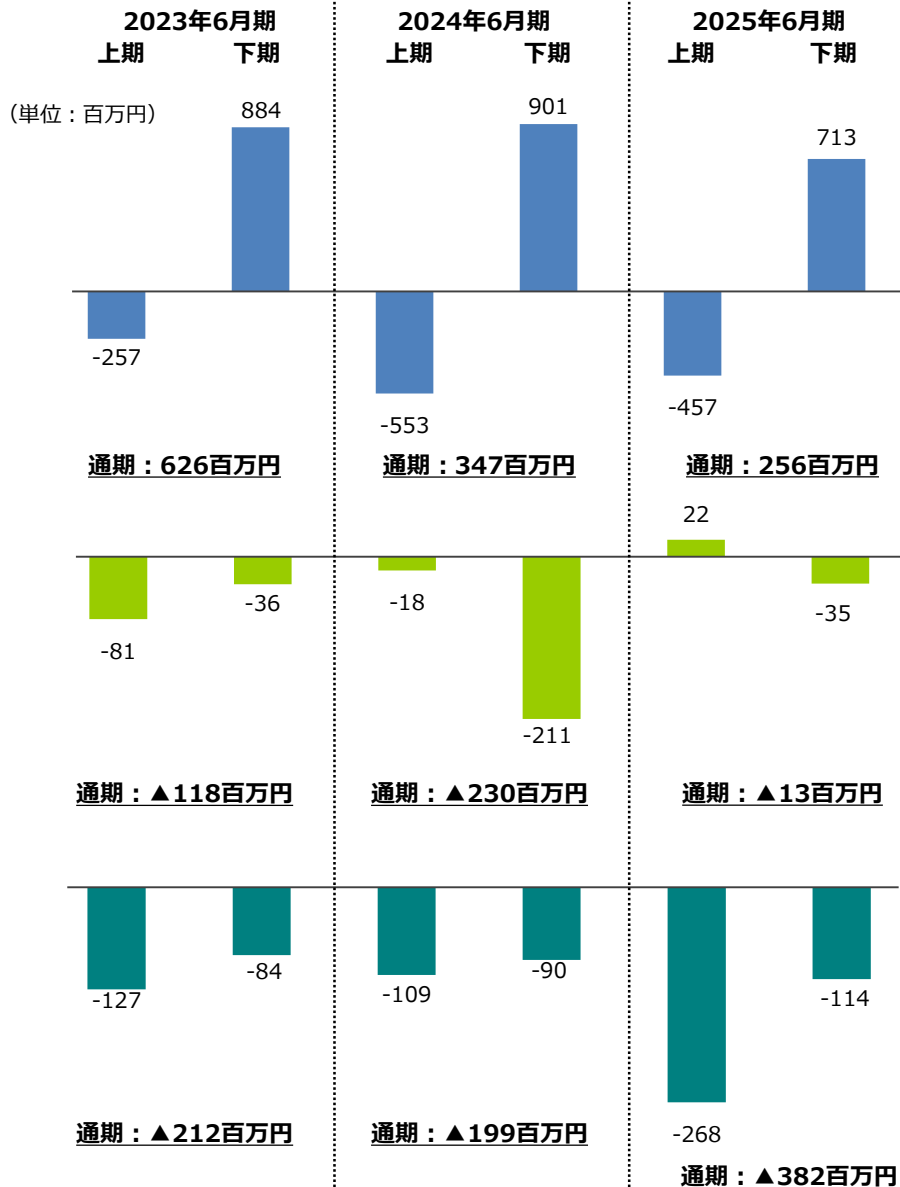
(単位：百万円)





# 連結キャッシュ・フロー推移

ITソリューション事業は、下期の3月末の売上計上が多く、下期において売掛金を回収するために、営業キャッシュ・フローが下期に増加する傾向にあります。



## 営業キャッシュ・フロー 256百万円

- ・法人税等の支払額 ▲187百万円
- ・売上債権の増加 ▲177百万円
- ・税金等調整前当期純利益 583百万円
- ・仕入債務の増加 82百万円
- ・非資産項目である減価償却費 52百万円

## 投資キャッシュ・フロー ▲13百万円

- ・有形固定資産の取得による支出 ▲18百万円
- ・無形固定資産の取得による支出 ▲20百万円
- ・投資有価証券の償還による収入 30百万円

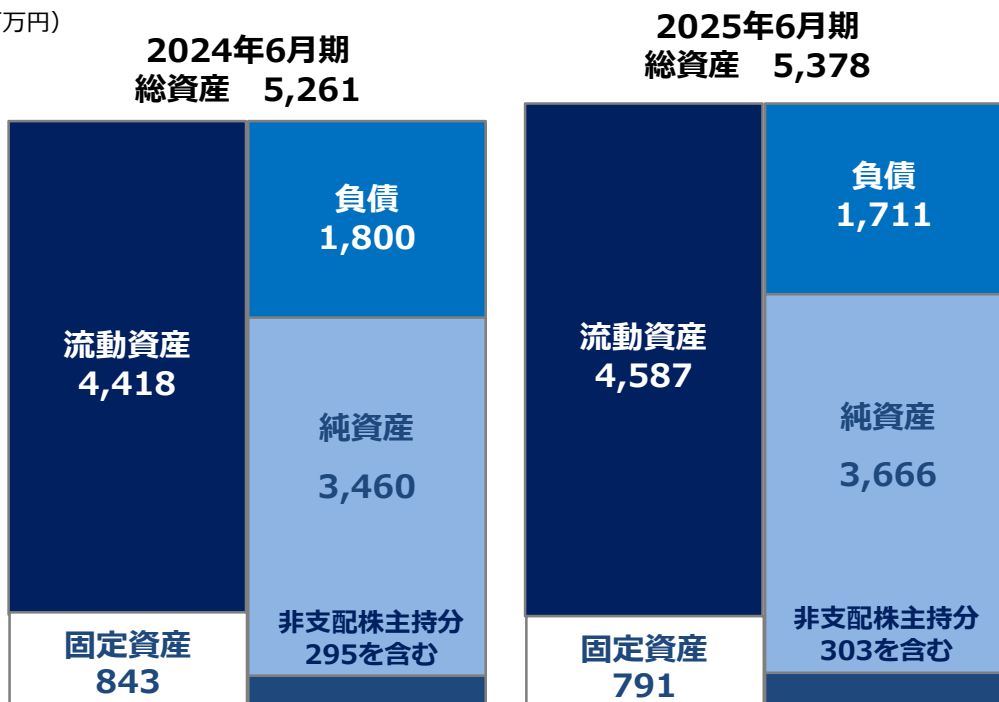
## 財務キャッシュ・フロー ▲382百万円

- ・短期借入金の純減額 ▲60百万円
- ・長期借入金の返済による支出 ▲75百万円
- ・配当金の支払額 ▲235百万円

# 連結財政状態

総資産は前期比で増加。自己資本比率は62.5%

(単位：百万円)



- (資産)
- ・受取手形及び売掛金の増加 178百万円
  - ・仕掛品の増加 112百万円
  - ・現金及び預金の減少 139百万円

- (負債)
- ・買掛金の増加 86百万円
  - ・長期借入金の減少 75百万円
  - ・短期借入金の減少 60百万円
  - ・未払金の減少 39百万円

- (純資産)
- ・親会社株主に帰属する  
当期純利益 386百万円
  - ・資本剰余金の増加 39百万円
  - ・配当金の支払い 236百万円

(単位：百万円)

	2024年6月期	2025年6月期	増減額
設備投資 + 研究開発費	119	42	▲77
減価償却費	54	52	▲2
有利子負債	536	400	▲135

# セグメント情報 ITソリューション事業

前期第3四半期から連結した子会社の損益が加わり、前年同期比で増収

(単位：百万円)

	2024年6月期	2025年6月期	前年同期比	
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	3,875	4,023	148	3.8%
営業利益	421	367	▲53	▲12.8%
営業利益率	11%	9%	—	—

## 事業の概況

- ・消防通信指令システムの全国展開を進め、当期末までの落札件数は4件。当期中には1件完了があったほか、進捗に応じ売上計上している1件含め、4件の仕掛・受注済案件あり
- ・自治体ソリューションのクラウド化を推進。車検用納税確認支援システムや教職員向け勤怠管理クラウドサービス「AttRec(アトレコ)」は全国の県、市町村への拡販に取り組む
- ・2024年9月、株式会社ネオジャパンのノーコード業務アプリ作成ツールのAppSuiteインテグレーターに認定。アプリ作成支援 & 作成代行等オプション連携サービスのメニュー化を進める
- ・SES事業においてAIソリューションベンダーとの取引を開始
- ・当期より通期で株式会社プライムシステムデザインの業績が加わる
- ・消防通信指令システムのほか、2025年10月に実施を控える国勢調査関連の統計システムを中心に、受注残高は前期末比28.7%増加
- ・ASOKAS株式会社が埼玉支店を開設

# セグメント情報 ITインフラ事業

ネットワーク事業拡大に向け、営業体制強化やエンジニア育成等、人財投資を進める

(単位：百万円)

	2024年6月期 通期	2025年6月期 通期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	997	1,046	49	4.9%
営業利益	181	163	▲17	▲9.9%
営業利益率	18%	16%	—	—

## 事業の概況

・地方公共団体における情報管理システムのネットワーク基盤リプレイスなど大型入札案件の完了、官公庁・民間企業でのグループウェア導入支援、行政・研究機関への計算機などの納入があり、前期比で4.9%の増収

・標的型攻撃メール対応訓練ソリューション「**SYMPROBUS CoTra Enterprise**」は、生成AIによる訓練メールテンプレートの自動作成機能追加やセキュリティ教育コンテンツ更新のほか、見積自動発行機能リリースなど、機能の充実を図る

・営業部員の増員、ネットワークエンジニア育成等、人財投資を推進

・茨城県では、企業版ふるさと納税(人材派遣型)制度を用いて茨城県教育庁へシステムエンジニア1名を1年間派遣し、ICTを活用した教育データ利活用の推進を支援

# セグメント情報 ITサービス事業

各事業とも堅調に推移し、前期比で増収

(単位：百万円)

	2024年6月期 通期	2025年6月期 通期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,375	1,395	19	1.4%
営業利益	102	99	▲3	▲3.5%
営業利益率	7%	7%	—	—

## 事業の概況

・第三者保守サービスは、レガシー仮想化(※)のためのエミュレータ(※)Charonの販売が伸び、パーツ販売もお客様の在庫調整の影響から回復傾向にあるも、一部保守契約の解約、エミュレータの仕入や外部委託による原価の増加あり

・病院情報システム維持管理は、運用業務が堅調に推移。人員の調整がつかず受注できない案件もあり、売上高は前期比6.5%増加

・BPOサービスは、入札などによる高収益案件への注力や業務効率の改善とともに営業利益が回復

※レガシーマシン：過去の技術や仕組みで構築されている、旧型のIT機器

※レガシー仮想化：レガシーマシン上で動作していたシステム環境を、仮想基盤上でソフトウェアとして再現する技術

※エミュレータ：特定のハードウェアやOS向けに開発されたソフトウェアを、異なる環境で実行させるためのソフトウェア

Charonは、特定のレガシーマシンを最新のx86ベースのハードウェア上で稼働させることができるソフトウェアエミュレータ

# 中期経営計画の進捗状況

# 中期経営計画2027 1年目進捗状況

## 事業戦略の取り組み

### Growth成長投資領域

- ・消防防災事業：アライアンスによるものを含み消防通信指令システム4件落札
- ・ネットワーク事業：大型案件のピークが一服。既存エリアでの官公庁案件提案強化、既存エリア外の新規開拓は当初計画より遅れ気味

### Core維持伸長領域

- ・ITソリューション事業：SES事業で成長性の高い、高付加価値分野への人財シフトを進める。AIソリューションベンダーとの取引開始

### Rebuild改善領域

- ・病院情報システム維持管理：前期比で売上増となったが、人員計画通りの採用ができず、外注費増加傾向の解消が課題
- ・BPOサービス：入札案件への採用強化、営業利益回復も売り上げ増には至らず

### Challenge研究開発領域

- ・行政向けのITソリューションのクラウド化を推進 車検用納税確認支援システム等
- ・標的型攻撃メール訓練サービスに生成AIによるメールテンプレート自動生成機能を実装

## 人財戦略の取り組み

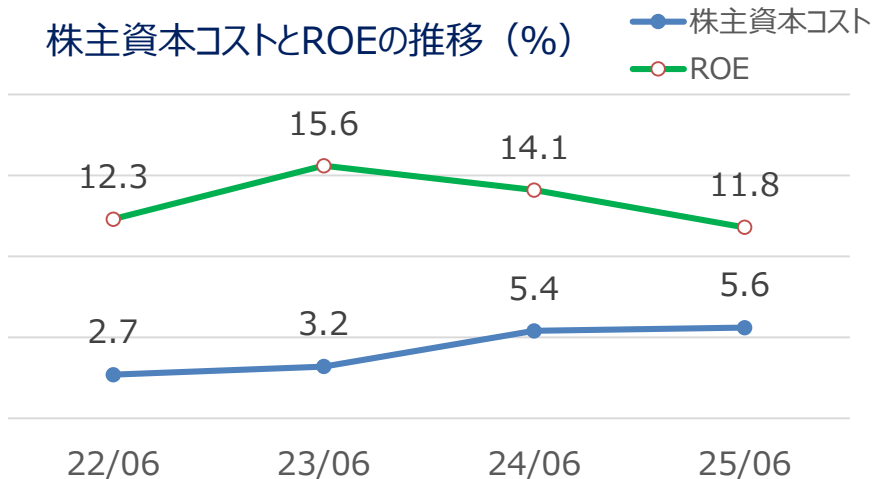
**人財確保** 2025年新卒採用51名、経験者採用11名 2025年6月末常時雇用者562名

**Well-being** 社員持ち株会員に自己株式処分型の特別奨励金スキームを適用し、16,800株を割当  
持株会会員数 2025年6月末現在196名(2024年6月末現在99名)

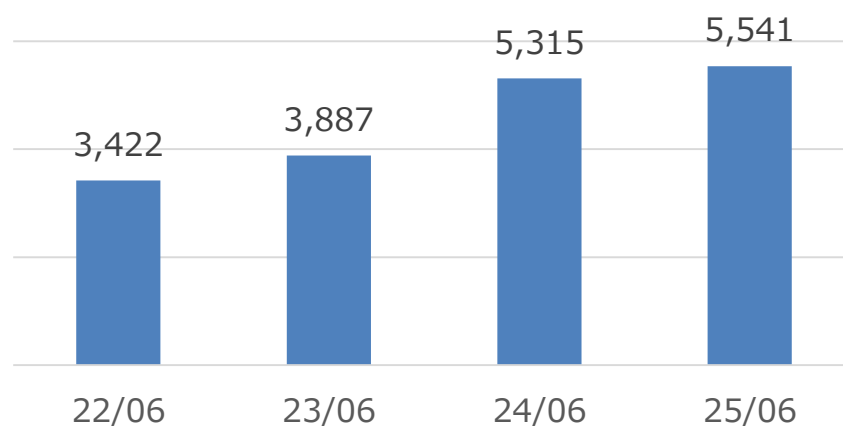
# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

ROEは、当期純利益低下により前期比減の11.8%で株主資本コストを上回る水準だが、収益性向上を課題と認識  
 2025年6月期のPBRは1.65倍（前期は1.68倍）、PER14.3倍（前期は12.53倍）上昇の余地ありと認識  
 収益性のさらなる向上と成長性への評価が得られるよう中期経営計画の戦略展開を促進する

株主資本コストとROEの推移 (%)



時価総額（自己株を除く）（百万円）



株主資本コスト 5.6%	=	リスクフリーレート	+	ベータ (β)	×	マーケットリスクプレミアム
		安全資産利子率 10年国債利回り 1.46%		当社株式と市場の 連動性を示すリスク 0.60		TOPIXと10年国債 利回りの差から算定 6.9%
ROE 11.8%	=	当期純利益率 6.01%	×	総資産回転率 1.21回転	×	財務レバレッジ 1.63倍

※中長期の株主資本コストを採用（CAPMベース）



# 中期経営計画の最終年度を2028年6月期に延長

当初計画 中期経営計画2027  
2024年7月～2027年6月

1年延長 中期経営計画2028  
2028年6月まで

2025年6月期の業績、中期経営計画の各戦略進捗状況を考慮し変更

- ・各年の計画数値を1年繰り下げ、最終年度を1年間延長
- ・ROE目標は、2028年6月期15%以上に修正 ※当初計画では3年間の平均15%以上

名称は「中期経営計画2028」に修正、基本方針・事業戦略・人財戦略の変更なし

## 計画期間変更の理由

(課題1)人財投資

- ・新卒採用、経験者採用ともに堅調に進捗。人件費が前期比10.8%増となる一方で、人員増の効果による収益貢献は計画に比べてタイムラグ。収益貢献時期の見直しが必要に

(課題2)トップラインの伸長

- ・初年度の売上高は前期比約12%増を計画するも、実績は3.1%増と伸び悩む。収益性・成長性の高い分野に投資を集中し、事業分野ごとの施策の進捗に差異
- ・首都圏地区のBtoBのIT事業会社を対象にM&Aを進めるも、初年度は実現には至らず。2028年6月期までに2社獲得を目指し、案件発掘を進める

※詳細については、2025年8月5日付「2025年6月期 決算短信」をご参照ください。

# 中期経営計画2028 要旨

## 2028年6月期 グループ売上100億円を達成する

- ・Business(事業) × Members(人財) × Value(付加価値) 3つの分野での挑戦を拡大し、2028年6月期のグループ売上高100億円を目指す
- ・2028年6月期のROE15%以上、時価総額100億円を目標に資本コストと株価を意識した経営を推進する

### 持続可能な社会の進歩・発展に貢献

#### 社会的な価値

私たちは、輝くICTサービスで社会の向上に貢献します

#### 経済的な価値

高収益はすべてのステークホルダーに満足してもらえる源

#### アクモスグループ理念

社是(信条)、企業理念(存在意義)  
アクモスフィロソフィー  
(考え方、価値観、行動規範)

#### ウィングシステム

少人数の採算管理制度により、  
KPI最大化とリーダー人財育成を図る

### 2028年6月期経営目標

売上高 **100億円**

経常利益 **10億円**

経常利益率 **10%以上**

株主資本利益率(ROE)  
**15%以上**

# 中期経営計画2028 基本方針

## Challenging Mind

社は「挑戦する心」をもって、事業の拡大と高付加価値化を実現し、新たな顧客を創造する

### Good Business事業の拡大と高付加価値化の実現

#### Growth（成長投資）領域

消防防災事業の全国展開およびネットワーク事業の首都圏、他地域での展開拡大

#### Core（維持伸長）領域

高収益事業へのシフト等、事業の伸長を実現し収益基盤を強化

#### Rebuild（改善）領域

外部環境に左右されない事業の確立を目指し、収益性、成長性を改善する

### Good Members挑戦する心を育む

- ・事業戦略と連動した社員の自律的な成長と挑戦の支援
- ・社員の物心両面の豊かさやWell-beingを支える組織・働く環境の整備

### Good Value売上高100億円の達成今後3年間の年平均成長率15%

- ・利益を事業成長への投資や株主様、社員への還元につなげる価値の循環を目指す

# 2026年6月期（第35期） 経営計画

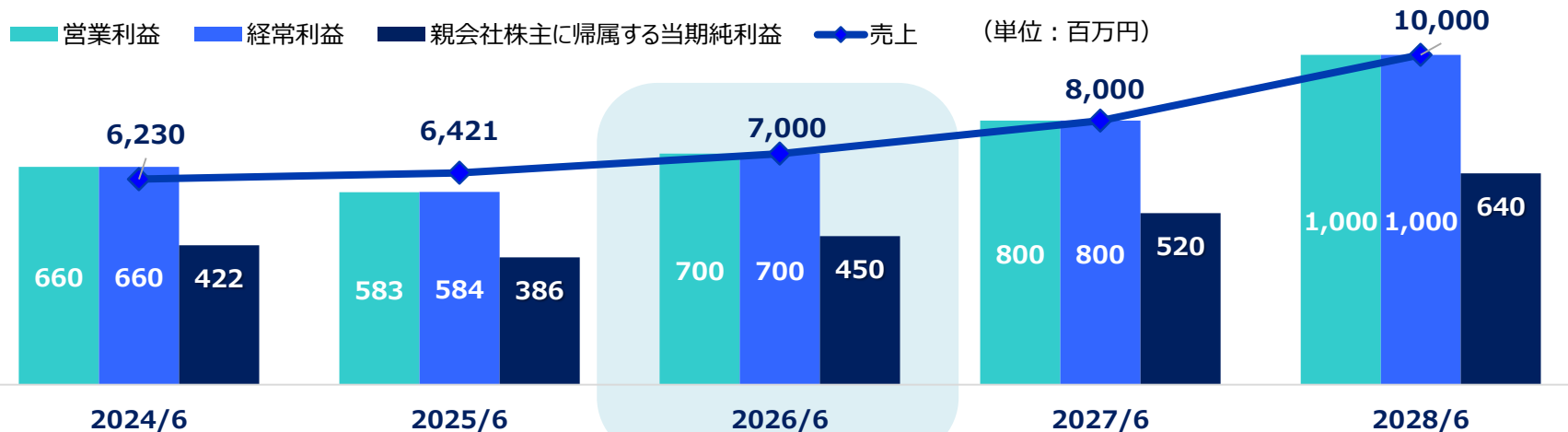
# 2026年6月期 経営計画ハイライト

売上高70億円、経常利益7億円の計画

前期課題の解決を図り、事業の拡大と高付加価値化に向けた施策に取り組む

当初の中期経営計画期間

1年間延長



## ITソリューション

- ・消防通信指令システム受注案件増に対応する体制強化
- ・行政業務を中心にクラウドベースのソリューションを拡充

## ITインフラ

- ・ネットワーク事業の営業対象エリアの拡大
- ・首都圏域でのM&A推進

## ITサービス

- ・外注から内製の割合を増やし、コストを削減
- ・アライアンス、チャネル開拓を推進

# 2026年6月期 業績予想

連結	2025年6月期 通期実績	2026年6月期 通期予想	対前期 増減率
売上高	6,421百万円	7,000百万円	9.0%
営業利益	583百万円	700百万円	19.9%
経常利益	584百万円	700百万円	19.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	386百万円	450百万円	16.6%
1株当たり当期純利益	38.94円	45.23円	—
株主資本利益率（ROE）	11.8%	13.0%	—
経常利益率	9.1%	10.0%	—

※ 2026年6月期の予想数値は、発表日時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合がございます。

## 2026年6月期計画のポイント

Growth領域の消防防災事業、ネットワーク事業分野に事業投資を集中し、成長性を向上



- ・消防通信指令システム、統計調査システム受注済み案件による収益貢献
- ・新規開拓（案件×エリア×顧客）の強化

事業戦略と連動した人財戦略のほか事業基盤の強化

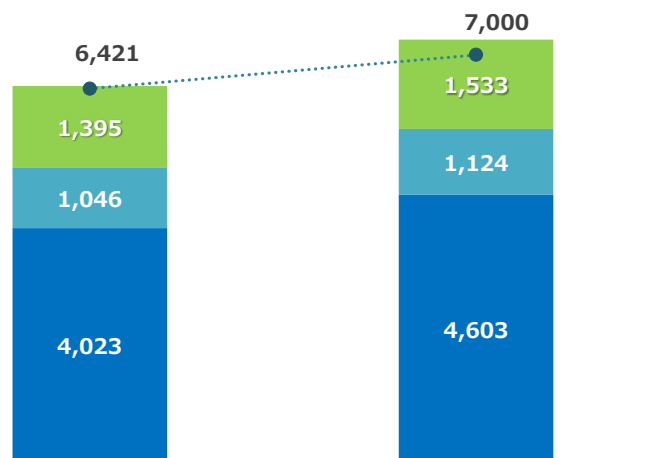


- ・人員採用計画 新卒、経験者採用を合わせて85名を計画
- ・首都圏特にネットワーク事業会社のM&Aに注力

# 2026年6月期 セグメント別予想

## 売上高

(単位：百万円)

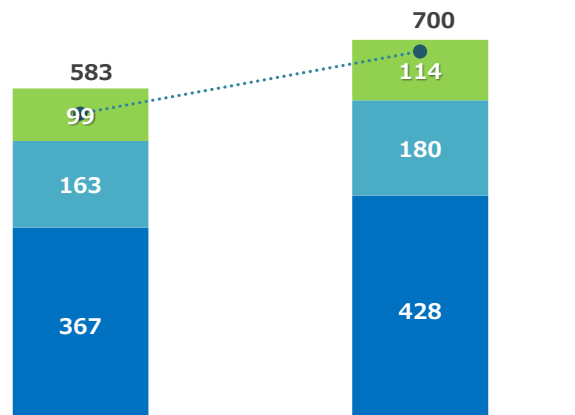


2024年6月期  
実績

2025年6月期  
予想

## 営業利益

(単位：百万円)



2024年6月期  
実績

2025年6月期  
予想

	2024年6月期	2025年6月期		
	実績	予想	増減額	増減率
<b>売上高</b>	<b>6,421</b>	<b>7,000</b>	<b>578</b>	<b>9.0%</b>
ITソリューション事業	4,023	4,603	579	14.4%
ITインフラ事業	1,046	1,124	77	7.4%
ITサービス事業	1,395	1,533	137	9.9%
<b>営業利益</b>	<b>583</b>	<b>700</b>	<b>116</b>	<b>19.9%</b>
ITソリューション事業	367	428	60	16.4%
ITインフラ事業	163	180	16	10.3%
ITサービス事業	99	114	14	15.0%

※各セグメントの売上高・営業利益には内部取引分を含み、連結の数値は内部取引相殺後となっております。

# 2026年6月期 主な戦略

## 事業戦略

### Growth成長投資領域

- ・消防防災事業：消防通信指令システム最大7件同時対応を目指し、受注拡大に備える
- ・ネットワーク事業：システム開発+インフラ構築のトータルソリューション提案を強化  
首都圏でのM & A 案件開拓を推進

### Core維持伸長領域

- ・SES事業を中心に成長性の高い、高付加価値分野への人財シフトを継続、全事業分野で新規受注を強化

### Rebuild改善領域

- ・CoreからRebuild領域に転じた第三者保守サービスの立て直し、計画的に対応機器の拡大、関西エリアでのアライアンス促進し、解約率の改善を図る

### Challenge研究開発領域

- ・AI活用の本格化を推進、AI活用のワーキンググループの立ち上げ、顧客サービス、開発分野、間接業務等多様な業務領域でのAI活用を推進

## 人財戦略

### 人的資本投資継続、グループ間人財交流

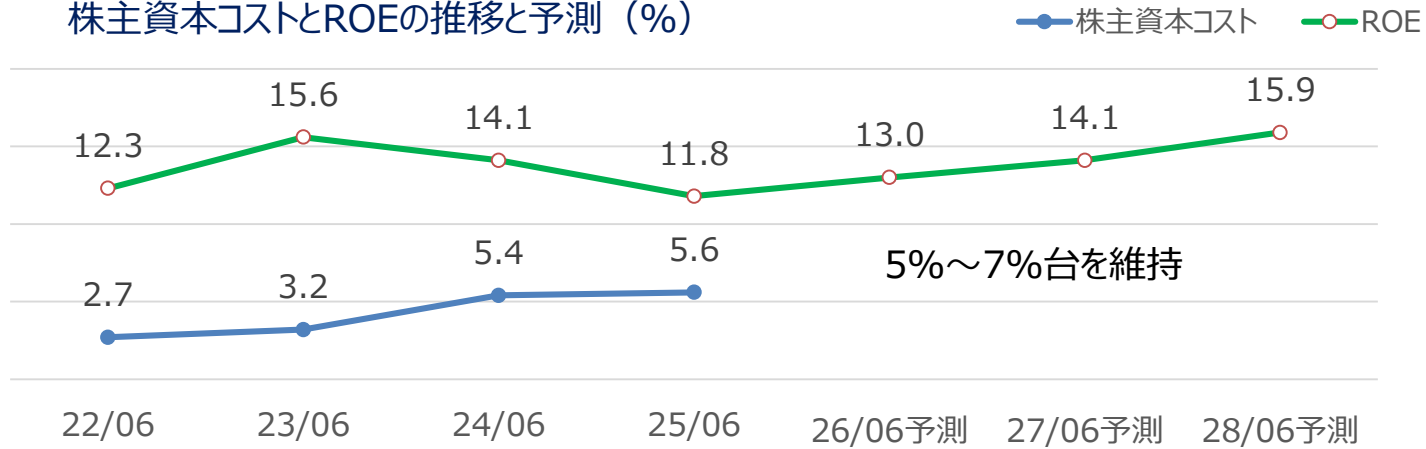
- ・多様な人財採用を継続、採用計画85名、実質物価上昇率を意識した給与水準の引上げ
- ・グループ内での業務担当者別交流基盤の整備と運用を開始、人的な交流を促進



# 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

人財投資と中心に中期経営計画の業績目標達成に向けた事業投資を促進  
2028年6月期のROE15%以上を目指す

株主資本コストとROEの推移と予測 (%)



## ROE予測

26年6月期ROE  
13%

=

当期純利益率  
6.43%

×

総資産回転率  
1.28回転

×

財務レバレッジ  
1.58倍

当期純利益率	人財投資により獲得した人員の収益貢献とGrowth領域の事業成長を推進
総資産回転率	在庫水準の適正化を継続、非事業資産の最適化の検討促進
財務レバレッジ	財務健全性を維持し成長分野への選択的投資、累進配当2028年迄延長

# コーポレート・ガバナンス

アクモスグループ理念の浸透およびコーポレートガバナンス・コードに基づき、取締役会、指名報酬委員会、監査等委員会において、ガバナンス強化にむけた取り組みを進めております。

- 1.ステークホルダーや事業活動倫理を尊重する企業文化・風土の形成  
アクモスグループの社是、企業理念、アクモスフィロソフィーを尊重する企業文化を組織に根付かせ、持続的な成長と企業価値を向上に努める
- 2.適切な情報開示と透明性の確保  
情報開示の透明性・公正性を確保し、投資家や資本市場からの信頼の維持に努める
- 3.取締役会等の機能充実  
取締役会は、多様なスキルやバックグラウンドを有する取締役で構成し、その機能を果たせるよう維持する
- 4.資本コストや株価を意識した経営  
年1回、進捗に関する分析、情報開示の更新を行い、ステークホルダーとの対話に向けた基盤を整備する

## ■業績連動型譲渡制限付株式報酬制度

- ・業務執行取締役のインセンティブとして、各事業年度ごとの業績条件を達成した場合に交付し、交付後5年間は譲渡を制限することにより、取締役と株主の皆様との一層の価値共有を促進
  - ・株式報酬支給の業績条件は、連結および単体における売上高、経常利益目標の達成
- ※中期経営計画を1年延長しましたが、2024年9月の第33回株主総会でご承認いただいた業績条件を適用します

# 株主還元

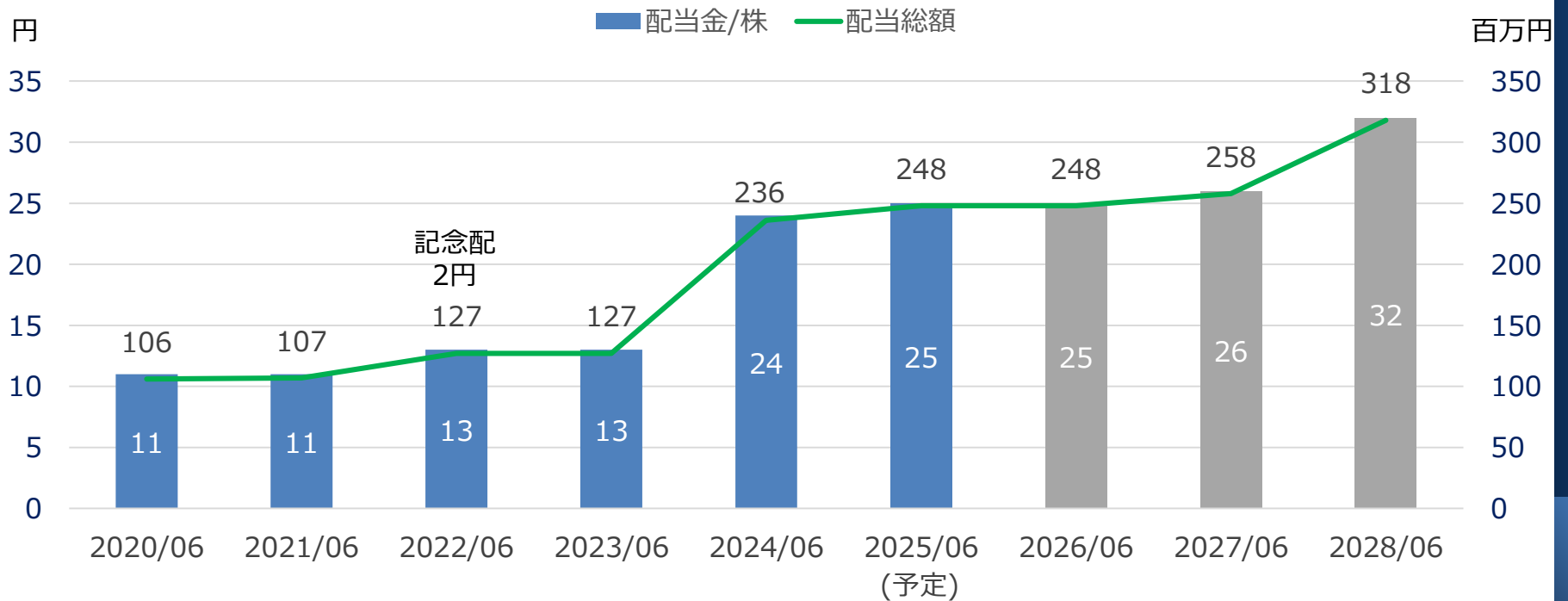
# 株主への利益還元方針

## 配当方針

親会社株主に帰属する当期純利益に対する  
配当性向50%以上

2025年6月期からの4年間  
累進配当を適用  
原則として減配せず、  
配当の維持もしくは増配を行う

## 1株当たり配当金 & 配当総額の推移



# 参考資料

# アクモスグループ一覽

**アクモス株式会社** 設立 1991年8月 資本金 6億9,325万円  
所在地 〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目21番19号 東急虎ノ門ビル8階  
TEL : 03-5539-8800 FAX : 03-5539-8332 URL : <https://www.acmos.co.jp/>  
主要取引先 株式会社日立製作所、富士通株式会社、茨城県、茨城県警察本部、  
国立研究開発法人 産業技術総合研究所、JAXA 宇宙航空研究開発機構、東日本電信電話株式会社、KDDI株式会社 他



**ASロカス株式会社** 設立 1980年1月 資本金 1億円  
所在地 〒260-0024 千葉県千葉市中央区中央港1丁目22番7号  
TEL : 043-203-5301 FAX : 043-302-2077 URL : <https://www.as-locus.jp/>  
主要取引先 株式会社マップル、総務省、経済産業省、農林水産省、林野庁、国税庁、千葉県、埼玉県、  
宮城県、八王子市他官公庁、住友林業株式会社、一般財団法人消防防災科学センター 他



**アクモスメディカルズ株式会社** 設立 1981年3月 資本金 1億円  
所在地 〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目21番19号 東急虎ノ門ビル8階  
TEL : 03-6206-7495 FAX : 03-6206-7498 URL : <https://www.acmos-ms.jp/>  
主要取引先 東京医科大学病院、東京臨海病院、岐阜県立多治見病院 他



**株式会社フィールドワン** 設立 1982年7月 資本金 8,000万円  
所在地 〒162-0053 東京都新宿区原町3-87-4 NTビル1階  
TEL : 03-5368-2111 FAX : 03-5368-2112 URL : <https://field-one.com/>  
主要取引先 TOPPAN株式会社、日本電子株式会社、ユニアデックス株式会社、シャープ株式会社、株式会社ゲットイット 他



**株式会社ジイズスタッフ** 設立 1997年3月 資本金 5,000万円  
所在地 〒101-0032 東京都千代田区岩本町一丁目10番3号 紀繁ビル4階  
TEL : 03-5829-6428 FAX : 03-5829-6429 URL : <https://www.gstf.jp/>  
主要取引先 株式会社高等教育総合研究所、官公庁、大学、民間企業、労働組合 他



**株式会社プライムシステムデザイン** 設立 1998年9月 資本金 3,000万円  
所在地 〒164-0011 東京都中野区中央2丁目22番地13号フジビル1 4階  
TEL : 03-5338-0127 FAX : 03-5338-0128 URL : <https://prime-sd.co.jp/>  
主要取引先 株式会社コーエイシステム、京セラコミュニケーションシステム株式会社、カルチュア・エンタテインメント株式会社 他



2025年6月30日現在

# アクモスグループ事業

## 社是

### 挑戦する心

挑戦を心の糧に、失敗を技術の種に

## 企業理念

アクモスグループは、社会の進歩・発展に貢献するため、仕事を通して心の豊かさと技術の向上を追求し、お客さまに感動していただけるプロフェッショナルなサービスを提供して、持続的な成長を実現します。

当社グループは、事業持株会社の当社及び連結対象の子会社5社で構成されており、事業セグメントの区分をITソリューション事業、ITインフラ事業、ITサービス事業の3つに分類しております。

### ITソリューション



SI・ソフトウェア開発  
消防防災ソリューション  
GISソリューション

### ITインフラ



IT基盤・ネットワーク構築  
クラウド関連サービス

### ITサービス



第三者保守サービス  
病院情報システム維持管理  
サーベイ・アンケート  
ビジネスプロセス アウトソーシング

# 連結貸借対照表(要約)

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	3,042,935	2,903,929	買掛金	226,822	313,374
受取手形及び売掛金	839,664	1,018,300	短期借入金 ※1	210,960	148,994
棚卸資産	423,525	545,625	未払金	278,686	239,374
その他	112,001	119,419	未払費用	427,226	410,576
流動資産合計	4,418,125	4,587,275	その他	286,659	308,749
有形固定資産	286,615	280,969	流動負債合計	1,430,355	1,421,068
無形固定資産	242,910	221,732	長期借入金	325,694	251,700
投資その他の資産	313,598	288,647	その他	44,734	38,883
固定資産合計	843,123	791,348	固定負債合計	370,428	290,583
			負債合計	1,800,784	1,711,652
			純資産の部		
			株主資本合計	3,162,942	3,360,655
			その他の包括利益	2,188	2,583
			累計額合計		
			非支配株主持分 ※2	295,334	303,732
			純資産合計	3,460,465	3,666,971
資産合計	5,261,249	5,378,624	負債純資産合計	5,261,249	5,378,624

※1長期借入金（1年以内）を前期末75,960千円・当期末73,994千円含んでおります。

※2 連結子会社のうち、ASロカス株式会社は、株式会社昭文社ホールディングスが株式の19%を所有しております。

株式会社フィールドワン、株式会社プライムシステムデザインは、それぞれ同社役員が株式の20%を所有しております。



# 連結損益計算書(要約)

(単位：千円)

	2024年6月期 通期	2025年6月期 通期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	6,230,020	6,421,748	191,727	3.1%
売上原価	3,995,901	4,113,341	117,440	2.9%
売上総利益	2,234,119	2,308,406	74,287	3.3%
販売費及び一般管理費	1,573,772	1,724,421	150,649	9.6%
営業利益	660,347	583,984	▲76,362	▲11.6%
営業外損益	104	1,011	907	871.9%
経常利益	660,451	584,996	▲75,455	▲11.4%
特別損益	▲8,382	▲1,334	7,048	—
税金等調整前 当期純利益	652,068	583,661	▲68,406	▲10.5%
法人税等	207,605	178,232	▲29,372	▲14.1%
非支配株主に帰属する 当期純利益	21,572	19,400	▲2,172	▲10.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	422,890	386,028	▲36,861	▲8.7%

# 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：千円)

	2024年6月期	2025年6月期		
	通期	通期	増減額	増減率
営業活動によるキャッシュ・フロー	347,745	256,609	▲91,135	▲26.2%
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲230,298	▲13,224	217,074	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲199,713	▲382,398	▲182,685	—
現金及び現金同等物の増減額	▲82,266	▲139,012	▲56,746	—
現金及び現金同等物の期首残高	3,016,782	2,934,516	▲82,266	▲2.7%
現金及び現金同等物の期末残高	2,934,516	2,795,504	▲139,012	▲4.7%

# 単体貸借対照表(要約)

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	1,496,051	1,307,495	買掛金	131,219	193,265
受取手形及び売掛金	527,472	712,339	短期借入金 ※1	187,400	132,400
棚卸資産	46,706	153,219	未払金	155,226	113,483
その他	39,241	43,647	未払費用	298,210	297,308
流動資産合計	2,109,472	2,216,702	賞与引当金	19,106	21,131
有形固定資産	253,274	239,101	その他	130,131	168,822
無形固定資産	17,663	19,850	流動負債合計	921,294	926,410
投資その他の資産	1,632,801	1,636,450	長期借入金	312,800	250,400
固定資産合計	1,903,739	1,895,402	その他	13,087	6,239
			固定負債合計	325,887	256,639
			負債合計	1,247,182	1,183,050
			純資産の部		
			株主資本合計 ※2	2,765,226	2,928,079
			評価・換算差額等合計	803	975
			純資産合計	2,766,029	2,929,054
資産合計	4,013,212	4,112,104	負債純資産合計	4,013,212	4,112,104

※1 長期借入金（1年以内）を前期末・当期末ともに62,400千円含んでおります。

※2 自己株式を前期末は▲36,804千円、当期末は▲27,668千円含んでおります。

# 単体損益計算書(要約)

(単位：千円)

	2024年6月期 通期	2025年6月期 通期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	4,017,336	3,870,843	▲146,493	▲3.6%
営業利益	451,214	404,735	▲46,478	▲10.3%
経常利益	485,192	464,946	▲20,245	▲4.2%
当期純利益	343,321	351,168	7,847	2.3%

## 単体業績予想

単体	2025年6月期 通期実績	2026年6月期 通期予想	対前期 増減率
売上高	3,870百万円	4,300百万円	11.1%
経常利益	464百万円	548百万円	17.9%
当期純利益	351百万円	385百万円	9.6%
1株当たり当期純利益	35.42円	38.70円	—

※ 2026年6月期の予想数値は、発表日時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合がございます。

## ■ 本資料について

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。今後、当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、需給関係等の変化にともない、業績見通しに変更される可能性があります。

また、本資料は、当社の株式購入など投資を勧誘する目的で作成されたものではありません。

なお、本資料の将来の見通しについての記述に関しましては、法令上その手続きが必要となる場合を除き、事前の予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

アクモス株式会社 経営企画部

TEL : 03-5539-1572

HP : <https://www.acmos.co.jp/>